

お知らせ

平成12年5月30日
海洋科学技術センター

海洋科学技術センターとインド国立海洋研究所との研究協力覚書（MOU）の締結について

海洋科学技術センター（理事長 平野 拓也）は、インド国立海洋研究所（NIO: National Institute of Oceanography）との間で、両機関のMOU (Memorandum of Understanding) を5月31日、インド国立海洋研究所（ゴア州）にて締結することとなりました。

当センターは、平成9年度からインド洋の海洋気候の季節変動から経年変動について、トライトンブイ計画*を推進しており、NIOの研究者とも「高解像度の数値モデルによるインド洋暖水プールの季節変動のメカニズムについて」研究を実施しています。このような研究交流の中で、アジアモンスーンがエルニーニョ現象に関連のあることが示唆され、平成11年度から両国の観測資源を有効に利用しながら、より総合的にインド洋の観測研究を推進していく為、相互の研究内容の調整等を進めて参りました。

今回のMOU締結により、インド国立海洋研究所が従来から行ってきたインド洋の海洋気候の変動についての観測資源の活用や、当センターが予定している東インド洋におけるトライトンブイ計画での海洋観測が効率的に実施でき、両機関の共同研究等による海洋・気候研究の分野での更に大きな成果が期待されます。

トライトンブイ計画*

：海上気象及び海洋観測のために新たに開発した係留ブイネットワークシステムであり、西太平洋赤道域、東インド洋に複数台設置し、エル・ニーニョ、アジアモンスーン及び10年規模の太平洋規模の熱循環機構の解明を目的としている。

資料-1：研究協力覚書（MOU）締結の概要

補足：インド国立海洋研究所（NIO: National Institute of Oceanography）について

問い合わせ先：
海洋科学技術センター

海洋観測研究部	水野	TEL 0468-67-3845
普及・広報課	他谷, 木村	TEL 0468-67-3806

資料-1

1. 目的

インド洋海域での海洋気候の季節変動から経年変動については、従来からインド国立海洋研究所との協力により実施しており、本研究協力覚書の締結により、更に相互の観測資源を有効に利用する事を目的とする。

具体的には、本海域にトライトンブイを展開するとともに、海洋地球研究船「みらい」による海洋観測と、NIOでの中層流速計ブイによる観測を実施することにより、これまでモンスーンのエルニーニョに及ぼす影響の解明に係る観測が切望されていた東部熱帯インド洋の観測研究が促進される。

また、海洋科学技術センターと宙開発事業団の共同プロジェクトである地球フロンティア研究システムで発見された、ダイポールモードイベント（平成11年9月16日発表）を観測し、その発生機構の解明も実施する予定である。

2. 締結

(1)署名予定日：平成12年5月31日（現地時間）

(2)署名者：海洋科学技術センター 堀田 宏 理事
：インド国立海洋研究所 Desa（デサ） 所長

(3)場所：インド国立海洋研究所（GOA STATE：ゴア州）

3. MOUに記載される協力事項

(1)インド洋に展開されるトライトンブイの維持のための相互協力

(2)データ取得、データ評価等についての協力

(3)データの共同解析

(4)科学技術情報の交換等

4. 今後の計画

平成12年度より、トライトンブイをインド洋に新たに2ヶ所展開（0度、東経90度と南緯5度、東経95度）し、NIOは同時に赤道上に中層流速計ブイを2から3個所（0度、東経93度と0度、東経83度、0度、東経63度）に展開する予定である。また得られた資料を双方協力して解析をすすめ、来年以後も協力して研究を継続する予定である。

尚、上記の括弧内のブイ設置位置については、現在の予定であり変更もある。

5. 期待される成果

インド側の中層流速計係留ブイ並びに海洋観測船データと当センターのトライトンブイ、海洋地球研究船「みらい」による観測データとの相互補完により、インド洋暖水域の水温、塩分の季節変動、年々変動の観測データを相互に活用することにより、インド洋での海洋変動とエルニーニョ現象やモンスーンとの関連性が明らかになる事が期待される。

インド国立海洋研究所（NIO: National Institute of Oceanography）について

組織概要

1. 運営母体

NIOは、

DST: Department of Science and Technology

科学技術省のものの

CSIR : Council of Scientific Industrial Research

に監督される41の研究所の一つである。

ゴアに本部をおく。

2. 創立

1966年1月

3. 職員数

科学者 217名、技術者 272名、事務系 149名

4. 研究部門

海洋物理、リモートセンシング、音響トモグラフィー、沿岸利用、海洋化学

海洋地質、海洋生物、海洋技術、海洋観測機器／コンピューター

等の部門を有している。